

心に残る文化財子ども塾 益田市立桂平小学校

1. 活動の概要

5月22日（火）、益田市二条地域にある市立桂平小学校で、5・6年生4人を対象に『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

はじめに、益田市教育委員会と古代文化センター職員が、益田市内の古墳や埴輪、学校周辺の城跡などの遺跡を、写真パネルや地図を使って紹介しました。子どもたちは小学校の近くやよく通る道のそばにも古墳があることを知り、驚いていました。

次は、理科室へ移動してはにわ作りの体験です。子どもたちは、益田市内で出土した埴輪を実際に観察した後、粘土の塊を薄い板にのばす作業から取り掛かりました。個性豊かな文様や装飾の人物埴輪ができあがっていましたが、時間の都合で、いったん片付けをしてから次の体験に移りました。

続いて和同開珎作りです。一人ずつ役割分担をして、鋳型を使った古代のお金づくりの仕組みを体験しました。鋳型を用意して溶けた低融点金属を慎重に流し込みます。鋳型を外して和同開珎が無事あらわれると、子どもたちはみなほっとした様子でした。

2. 活動の様子



「学校の近くには古墳や城跡があります」



粘土を伸ばして芯にまきつけます



「鋳型の穴へゆっくと…」



鋳型から和同開珎を取り出します

3. 活動を終えて

1) 児童の皆さんから

- はにわ作りでうまく作れた。
- わどうかいちゃんもちょっとくさかったけど、昔の人はそれをがまんしてやっつけていてすごいな~と思いました。
- 二条になにがどこにあるか、昔のことをもっと知りたいです。
- 昔の人は時間がかかっても作っていてすごいなあとと思いました。作り方もすごかったです。
- もっと大きいはにわを作りたいです。
- 二条にも古ふんがあることや、益田にも90も古ふんがあることが心に残った。
- 今より前につかわれていたお金を全部見て、その特ちょうや、かいてある字について知りたいです。
- 古ふんの見学がしてみたいです。
- はにわを作って、いろいろな形があったり、もようがつけれて、楽しかったです。
- 島根県以外の古ふんのことも、もっと知りたいです。

2) 担任の先生から

- 地域の遺跡の紹介をしてもらい、地域の歴史に触れ、歴史に関心が高まったことがよかった。
- 体験活動を通して昔の人々の技術や知恵に触れられたことも、貴重な機会でもあったと思う。
- 時間等の都合もあったと思いますが、和同開珎作りのセットがもう1組あって、子ども一人ひとりが工程を多く体験できると喜びます。

3) 古代文化センターから

児童の皆さんには熱心に説明を聞いていただき、小学校がある二条地域に加えて、益田市内の古墳や埴輪について広く興味を持ってもらえたようで、うれしく思います。

はにわ作り・和同開珎作りなどの体験を通じて、昔の人々の技術や知恵についてより理解が深まるよう、資料や説明も工夫していきます。古墳時代や奈良時代の学習では、今回の活動を思い出してみてください。